

平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月14日

上場取引所 大

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大野 利美知
 (氏名) 小高 芳夫

TEL 03-3362-7130

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	7,075	11.1	396	177.4	368	311.7	221	692.6
23年5月期第1四半期	6,370	21.4	142	13.5	89	△0.7	27	△31.7

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 218百万円 (769.9%) 23年5月期第1四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	8,857.27	—
23年5月期第1四半期	1,376.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	15,679	3,079	18.8
23年5月期	15,338	2,919	18.2

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 2,943百万円 23年5月期 2,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	2,600.00	2,600.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,805	6.6	749	15.7	666	21.2	310	35.1	12,433.51
通期	28,980	8.0	1,678	12.1	1,511	12.6	702	24.8	28,107.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

* 平成23年10月14日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

* 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期1Q	26,165 株	23年5月期	26,165 株
24年5月期1Q	1,164 株	23年5月期	1,164 株
24年5月期1Q	25,001 株	23年5月期1Q	20,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(6) 重要な後発事象	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年6月1日～平成23年8月31日)におけるわが国経済は、原子力災害に伴う電力制限に加え超円高の定着等により厳しい状況にありましたが、東日本大震災からの復興に向けた様々な取り組みが徐々に活発化されつつありました。しかしながら、世界経済を俯瞰すれば米国の景気減退やEC諸国の金融不安、新興国における成長率の鈍化等により、今後も予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような情勢のもと、当社グループでは「3つのブレークスルー戦略(付加価値戦略、地域密着戦略、シナジー戦略)」を掲げ、新たな成長ステージに向けて鋭意取り組んでおります。付加価値戦略とは「在宅医療・施設調剤の推進」「安全と効果に基づく後発医薬品の推進」「新たな薬局機能の提案」を重点要素として調剤を科学し続けることであります。地域密着戦略とは、M&A等により地域ネットワークの拡大を目指す水平的連携と、医薬品卸業や医療機関との連携を深めて地域医療サービスの充実を図る垂直的連携を推進することであります。シナジー戦略とは、「地域医療への貢献」に向けた新たなアプローチを模索するもので、現状では医療モール事業とITを活用したソリューション事業の推進を想定しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は堅調に推移し、売上高は7,075百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は396百万円(同177.4%増)、経常利益は368百万円(同311.7%増)、四半期純利益は221百万円(同692.6%増)と順調に業績を推移させることができました。

なお、当社グループは平成23年9月30日付で株式会社テラ・ヘルスプロモーションの全株式を取得し、完全子会社化いたしました(平成23年9月29日付「株式会社テラ・ヘルスプロモーションの株式取得(完全子会社化)に関するお知らせ」ご参照)。これにより当社グループの近畿地区における事業基盤はさらに強化されることとなります。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第1四半期連結会計期間末において、当社グループが運営する調剤薬局店舗数は、162店舗(直営160店舗、FC2店舗)となりました。平成23年8月に子会社のファーマライズ株式会社において氷見店(富山県)を新規開局しましたが、同時期に榛原店(静岡県)を休局いたしました。薬局運営面につきましては、前期に引き続き、地域医療(在宅医療・施設調剤)と後発医薬品に関する対策を推進してまいりました。特に後発医薬品につきましては、従来の方針である「安全と効果の検証」を踏まえた上で積極的な対応を加速しております。

また、調剤薬局の機能を開発するという観点から、当社グループの運営する調剤薬局において第一類医薬品を充実させることに加えてメディカルアロマや医療用サプリメントを取り揃えて、新たな付加価値の提供に向けた模索を続けております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,837百万円(前年同期比9.1%増)、セグメント利益は452百万円(同128.0%増)となりました。

(その他)

その他の事業の主な内容は、ファーマライズ株式会社がJR札幌駅内「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」の7階から9階に展開する「ファーマライズ医療モール」の運営であります。その他は、当社による処方データの販売、完全子会社の株式会社ふじい薬局による化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸売販売、ファーマライズ株式会社の子会社である株式会社レイケアセンターによる人材派遣業であります。

その他の事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は238百万円(前年同期比135.3%増)、セグメント損失は5百万円(前年同期比4百万円減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は15,679百万円となり、前連結会計年度末残高15,338百万円に対し、341百万円増加しました。この主な要因は、順調に業績が推移したことに伴い現金及び預金の残高が3,934百万円となり前連結会計年度末残高3,569百万円に対し364百万円、関連会社株式の取得に伴い投資その他の資産の残高が1,930百万円となり前連結会計年度末残高1,757百万円に対し173百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は12,600百万円となり、前連結会計年度末残高12,419百万円に対し181百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の残高が4,892百万円となり、前連結会計年度末残高4,120百万円に対し772百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計残高が6,015百万円となり、前連結会計年度末残高6,339百万円に対し323百万円減少したこと、未払法人税等の残高が106百万円となり前連結会計年度末残高349百万円に対し242百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,079百万円となり、前連結会計年度末残高2,919百万円に対し160百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の残高が1,442百万円となり、前連結会計年度末残高1,285百万円に対し156百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社では、平成23年9月29日付「株式会社テラ・ヘルスプロモーションの株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ」を勘案のうえ、平成23年7月15日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年10月14日）付で公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,569,971	3,934,606
売掛金	805,558	849,764
商品	798,526	933,826
未収入金	2,139,137	1,883,658
その他	372,348	306,325
貸倒引当金	△1,162	△2,027
流動資産合計	7,684,379	7,906,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,729,149	1,736,296
土地	1,592,281	1,592,281
その他(純額)	423,520	335,476
有形固定資産合計	3,744,950	3,664,054
無形固定資産		
のれん	1,880,702	1,880,745
ソフトウェア	228,190	201,983
その他	30,259	84,669
無形固定資産合計	2,139,151	2,167,398
投資その他の資産		
差入保証金	795,371	796,801
その他	1,077,348	1,249,292
貸倒引当金	△115,155	△115,155
投資その他の資産合計	1,757,564	1,930,938
固定資産合計	7,641,667	7,762,391
繰延資産		
株式交付費	8,994	8,175
社債発行費	3,419	3,188
繰延資産合計	12,414	11,363
資産合計	15,338,461	15,679,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,120,023	4,892,404
短期借入金	90,000	60,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	2,306,757	2,268,915
未払法人税等	349,277	106,780
賞与引当金	10,595	94,075
その他	664,780	560,809
流動負債合計	7,581,434	8,022,983
固定負債		
社債	220,000	200,000
長期借入金	4,032,669	3,746,936
退職給付引当金	164,212	167,066
その他	420,836	463,290
固定負債合計	4,837,717	4,577,292
負債合計	12,419,151	12,600,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,545	815,545
資本剰余金	762,846	762,846
利益剰余金	1,285,727	1,442,164
自己株式	△88,308	△88,308
株主資本合計	2,775,810	2,932,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,092	10,853
その他の包括利益累計額合計	15,092	10,853
少数株主持分	128,406	136,532
純資産合計	2,919,309	3,079,633
負債純資産合計	15,338,461	15,679,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	6,370,869	7,075,547
売上原価	5,546,080	6,009,439
売上総利益	824,788	1,066,107
販売費及び一般管理費	681,828	669,503
営業利益	142,960	396,604
営業外収益		
受取利息	1,584	1,082
受取配当金	256	400
持分法による投資利益	—	9,292
受取賃貸料	3,912	4,710
その他	4,080	8,226
営業外収益合計	9,834	23,713
営業外費用		
支払利息	31,527	34,113
持分法による投資損失	15,108	—
休止固定資産費用	10,204	9,916
その他	6,391	7,582
営業外費用合計	63,231	51,612
経常利益	89,562	368,704
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,916	—
特別利益合計	8,916	—
特別損失		
固定資産売却損	—	6,312
固定資産除却損	—	369
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,171	—
特別損失合計	5,171	6,682
税金等調整前四半期純利益	93,307	362,021
法人税等	64,067	139,449
少数株主損益調整前四半期純利益	29,239	222,571
少数株主利益	1,299	1,131
四半期純利益	27,940	221,440

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,239	222,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,142	△2,231
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2,007
その他の包括利益合計	△4,142	△4,238
四半期包括利益	25,097	218,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,797	217,201
少数株主に係る四半期包括利益	1,299	1,131

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	6,269,550	6,269,550	101,318	6,370,869	—	6,370,869
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,269,550	6,269,550	101,318	6,370,869	—	6,370,869
セグメント利益又は損失 (△)	198,492	198,492	△9,620	188,871	△45,911	142,960

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業及び医療モール経営事業が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△45,911千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	6,837,141	6,837,141	238,405	7,075,547	—	7,075,547
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,837,141	6,837,141	238,405	7,075,547	—	7,075,547
セグメント利益又は損失 (△)	452,558	452,558	△5,081	447,477	△50,873	396,604

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業及び医療モール経営事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△50,873千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)

株式取得による会社等の買収

当社は、平成23年9月29日開催の取締役会において、株式会社テラ・ヘルスプロモーション(以下、「テラ・ヘルスプロモーション」という)の全株式を取得することを決議し、同日、株式譲渡契約を締結しました。当該契約に基づき、平成23年9月30日に同社の株式を取得し、完全子会社といたしました。

1 株式取得の目的

当社グループは、高水準の調剤サービスを安定して提供できる能力と、北海道から近畿地区まで幅広い地域に店舗展開し、各地に効率的なドミナント圏を形成していることを裏付けに、新たな成長ステージに向けた高付加価値戦略と地域密着戦略を並行して推進しております。

高付加価値戦略とは、これまでも積極的に取り組んできた地域医療(在宅医療、施設調剤等)や後発医薬品の推奨品目選定に関するノウハウ、予防医療の提案能力など当社グループ独自の強みにさらに磨きをかけることであります。地域密着戦略とは、当社グループが店舗展開している地域社会への貢献を重要な命題と認識し、「地域医療への貢献」という理念を共有できる企業との提携関係や資本関係の構築を拡大することです。また、当社グループは平成21年6月1日より持株会社が地域の薬局運営会社を統括する体制に移行し、グループネットワークの拡大とグループ全般の運営効率向上に努めてきた経緯があります。

この度、当社はテラ・ヘルスプロモーションの全株式を取得し完全子会社といたします。テラ・ヘルスプロモーションは、大阪府に6店舗、和歌山県に1店舗の調剤薬局を運営し、近畿地区において信認の厚い有力企業であります。当社グループは、近畿地区において既に28店舗の調剤薬局を運営し、特に大阪府下では10店舗を運営しております。テラ・ヘルスプロモーションを当社グループ内に取り込むことにより、大商圏の大阪府下に16店舗の薬局店舗を確保することができ、人材の交流や医薬品在庫・仕入管理の効率化等を図ることができます。さらに、テラ・ヘルスプロモーションがこれまで培ってきた地域の人的ネットワークに当社グループの地域医療や後発医薬品等に関するノウハウを融合することで、当社グループ内におけるシナジー効果の発現を見込むことができます。

当社グループでは、テラ・ヘルスプロモーションを将来的な近畿地区全般におけるグループの中核会社と位置付け、近畿地区の地域医療において確固たる存在感を示すことで当社グループの企業価値向上に反映させてまいりたいと考えております。

2 株式取得の相手先の名称 寺川功宏、寺川友啓、寺川展史、寺川喜代美

3 取得した会社の概要

(1)	商号	株式会社テラ・ヘルスプロモーション		
(2)	本店所在地	大阪府大阪市中央区西心斎橋一丁目10番4号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 寺川功宏		
(4)	事業内容	調剤薬局事業、一般薬品事業		
(5)	資本金の額	10,000,000 円		
(6)	設立年月日	平成8年5月30日		
(7)	従業員数	47名		
(8)	事業年度末日	9月30日		
(9)	大株主及び持株比率	寺川功宏 110株 (55.0%)、寺川友啓 35株 (17.5%) 寺川展史 35株 (17.5%)、寺川喜代美 20株 (10.0%)		
(10)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
		平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
	純資産	15,896	17,996	24,172
	総資産	347,276	384,898	467,916
	売上高	924,108	1,011,805	1,190,323
	営業利益	△1,262	8,050	19,678
	経常利益	2,110	3,513	11,975
	当期純利益	1,594	2,099	6,176

単位：千円

4 株式取得の時期 平成23年9月30日

5 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0株 (所有割合：0%)
 (2) 取得株式数 200株 (取得価額：890百万円)
 (3) 異動後の所有株式数 200株 (所有割合：100%)

6 支払資金の調達方法

株式取得資金につきましては、自己資金及び金融機関等からの借入金による調達によっております。